

## 「CSR-BOP ウォッチ」の概要

「CSR-BOP ウォッチ」は、**CSR** (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) や **BOP ビジネス** (Base of the Pyramid：低所得者層をターゲットとした開発途上国での貧困削減ビジネス)、昨今では **SDGs** (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標) など、途上国での社会課題解決に関心のある方が、有志で集い、最新の取組みなどを学び、議論を行う勉強会です。途上国の課題解決に関わる実務者（民間企業・NGO・国際開発業界等）や学術関係者が集う、少人数のクローズドな場での勉強会のため、本音の深い議論が活発に行われています。

### 開催経緯

1998年から、岡田仁孝教授（上智大学（当時在籍））と FASID (Foundation for Advanced Studies on International Development：一般財団法人国際開発機構) により共催したセミナーや研修の受講生などが集う有志の会合（メーリングリスト登録者数：約 350 名）として、岡田教授が主催し 2003 年に発足。2021 年 4 月現在まで、国内外から講師を招き 120 回を上回る勉強会を開催しています。

### 開催概要

- **目的**  
途上国での社会課題解決に関心のある方が、有志で集い、共に学び、議論を行うボランティアな勉強会（無償、会費なし）
- **開催頻度**：年間 7～8 回程度
- **開催時間**：平日 19～21 時  
（前半：スピーカーによる事例紹介、後半：参加者との質疑応答・議論）
- **開催場所**：オンラインまたは経済産業省本庁舎（コロナ禍以前は経済産業省本庁舎にて開催。状況を鑑みてオンラインまたは経済産業省での実施検討）
- **参加者数**：各回 30 名程度

### 主催者（共同運営）

東京国際大学国際戦略研究所：岡田仁孝、取出恭彦

一般財団法人国際開発機構（FASID）：民間セクタープロモーションユニット